

ともに、未来を創ろう

山添藤真



晩冬の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、12月2日から18日にかけて、平成25年12月定例会が開催されました。一般会計補正予算第5号、債権管理条例、4月からの消費税増税に伴う給水条例改正案、指定管理者の指定などの議案が提出されました(原案可決)。

また、議員発議3件が提出され活発な議論がなされました。特に、下水道分担金負担金問題に係り、「太田町長に対する問責決議」が可決(賛成10・反対7)されたことは町民のみなさんにとっても印象的だったのではないのでしょうか。

本活動報告では、私の本会議での発言の一部などをご紹介します。

概要 12月定例会の一般質問では、町長のマニフェストの達成度について質問しました。

答弁でも繰り返し強調された太田町長の「協働のまちづくり」を推進するためには、下水道問題で失墜した行政と住民間の信頼関係の再構築に粘り強く取り組むことが必要不可欠です。住民説明会など繰り返し開催し、信頼回復を図られることを強く要望して質疑を終えました。

山添 それでは、事前通告にもとづきまして、平成25年12月定例会における一般質問を行います。

私は「マニフェストの達成度を問う」「平成26年度予算編成方針を問う」の2件について、町長に答弁を求めます。

旧3町が合併し、与謝野町が誕生して以降、2度にわたり、このまちのリーダーを決定する首長選挙が行われています。2006年に行われた第1回目の首長選挙においては、お二人の候補者が選挙戦を闘われています。続く、2010年の選挙においては、太田町長以外の立候補者はなく無投票でございました。この2度の選挙におきまして、太田町長はご自身が目指されるまちづくりの方向性や施策を、2006年には「与謝野町ローカルマニフェスト」、2010年には「お約束」のなかで示されています。

ローカルマニフェストでは、6つの大項目すなわち、

- ①安心・安全・快適な住みよいまちづくり
- ②地域とコミュニティを育むまちづくり
- ③学び合うまちづくり
- ④子育て支援と福祉のまちづくり
- ⑤頑張る企業や起業を応援するまちづくり
- ⑥無駄のない行政運営のまちづくり

を示されるとともに、107項目の施策を掲げられました。また、2010年に発行された選挙ビラでは、「まちづくりの主人公は住民であり、住民が輝けばまちが輝きます。皆様のお力やお知恵で協働のまちづくりを前進させましょう」というメッセージのもと、加悦中学校の

改築、学校の適正規模・適正配置、ちりめん街道のさらなる活性化など、10つの取り組みたい重点課題をお約束というかたちで示されています。

先般行われました家城議員の一般質問の「2期目を終えられるあたり、自己採点、自己評価をお願いしたい」との質問に対して、評価は住民がするものであるという見解のもと、総合計画審議会がだされている総合計画の達成度を紹介されました。それもひとつの評価軸でしょう。しかしながら、総合計画は住民が主体となり作り上げた計画であります。すなわち、与謝野町民の計画であります。一方、首長選挙時において訴えるマニフェストは、候補者本人にすべての責任が帰結する性格のものであり、政治家の政治姿勢を色濃く反映させるものであります。

そこで、一件目の質問「マニフェストの達成度を問う」においては、過去2度の選挙において掲げられためざすまちの姿や施策に対する取り組み、達成度について伺います。また、取り組みを進めるなかで浮かび上がった今後の当町の課題について、町長ご自身のお考えをお伺いしたいと思います。

町長答弁…マニフェストに掲げた10項目の達成度はそれぞれである。しかしながら、主人公である住民のみなさんが自主的に「協働のまちづくり」を実践してもらいようになつたことが、今後のまちづくりにとって大きな成果であった。今後の課題については、住民アンケートの「今後、力を入れるべき施策」としてあげられていることが課題である。

一般質問

活動報告

山添藤真

ともに、未来を創ろう

染色体験



石川区の工房で染職体験をさせていただきました。親方(と呼ばせていただきます!)に教えてもらいながら、生地に染料液を刷毛で塗り付けて染める技法である「引染」で、一着の着物を染めあげました。与謝野町には織物だけでなく染色においても高度な技術が現存していることを肌で感じる事ができ、とても嬉しい時間になりました。こうした技術を残していくことは、地場産業の振興だけでなく観光振興にもつながるように思います。

レイテ島より

曾祖父・山添勇夫大尉の慰霊碑があるフィリピン・レイテ島より。昨年3月に現地を訪れた際にご縁を頂いた方から、台風30号で甚大な被害がでたにもかかわらず、キャプテン・ヤマゾエの慰霊碑は今もお現地の方々の手によって丁寧に管理されているとのお便りを頂きました。この心温まる写真を眺めていると、勇夫おじさんが創造したかった世界は70年の月日を経て実現しつつあるのではないかと思います。



番外編 おせち料理

この年末年始は、自宅でおせち料理をつくる手伝いをしていました。本格的におせちをつくるのは初めてで、試行錯誤しながら、なんとか完成にこぎつけました。家族や友人の話や話を聞くと、家庭や地方によってそれぞれの食材や味付けがあることを改めて感じました。ひとつひとつのお重のなかには、郷土の慣習や風習、家庭が受け継いできたものが敷き詰められているのですね。



平成26年度 与謝野町成人式

1月12日(日)、野田川わーくぱるにて「平成26年度与謝野町成人式」が開催され、参列致しました。280名の新成人の皆さんが新しい門出を迎えられ、郷土で育った誇りを胸にこれからの社会を生き抜く決意をされました。自分と未来を信じて力強く、それぞれの人生を歩んでもらいたいと思います。また、この活動報告でも取り上げてきました「30歳の成人式(30歳をきっかけに再び故郷に集まって未来について考え、騒ぎ、地域を活性化する、つながりと絆だけをベースとした地域活性化イベント)」ですが、全国的なひろがりを見せるようになりました。



(写真左)

福島県いわき市で
開催された30歳の成人式

www.yamazoetoma.com

ホームページにて山添藤真の日頃の活動をリアルタイムでお伝えしております。

山添藤真後援会

〒629-2263 京都府与謝郡与謝野町字弓木493番地

TEL: 0772-46-2031(携帯 080-2077-4591) FAX: 0772-46-4394

EMAIL: toma.yamazoe@gmail.com